

大田区の問題意識と つながる活動

大田区福祉部高齢福祉課長 小西 博幸

平均余命の推移

1956年	65歳時点の平均余命	男11.4	女13.5
2020年	65歳時点の平均余命	男20.1	女24.9
	75歳時点の平均余命	男12.6	女16.3

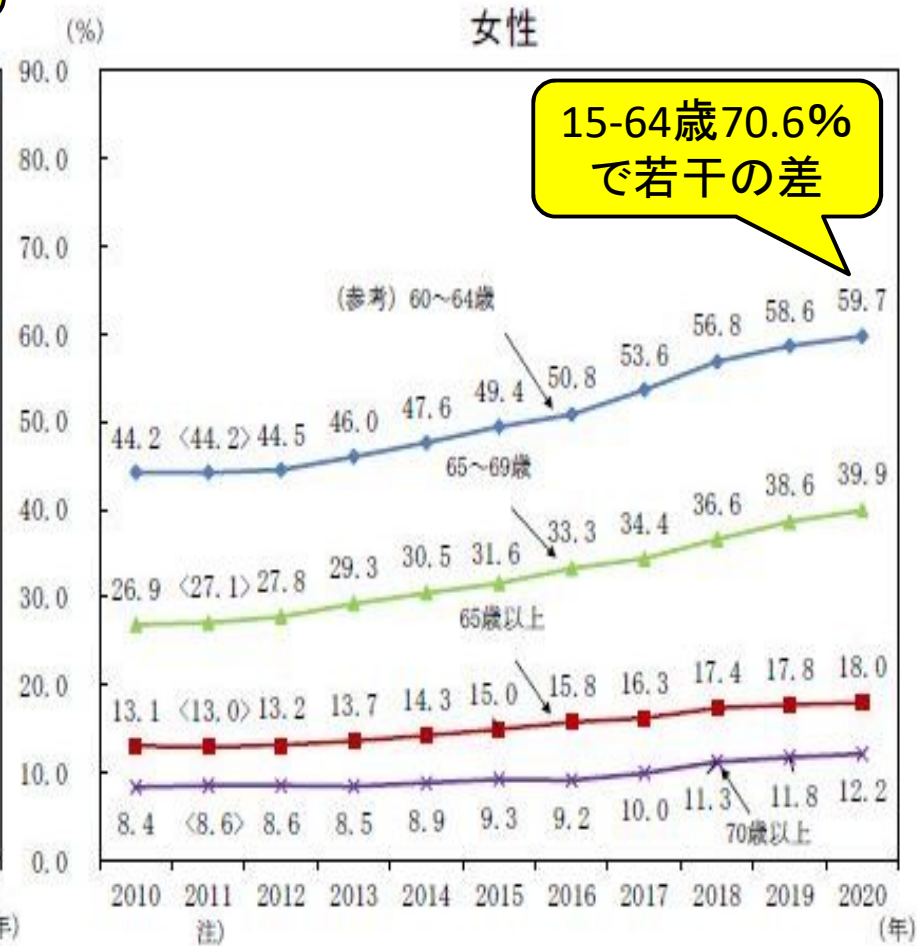
65歳～70歳の間で離職が始まり、20年～25年もの期間、多くの方は地域が生活の中心に。

15-64歳83.3%
と差がない



女性

15-64歳70.6%
で若干の差



資料:厚生労働省「労働力調査」

定年から地域移行

- 高齢者の場合、要介護2以上となり、亡くなるまでの期間は、男性5年、女性6.6年※
- 定年後から要介護2までの期間は15年～17年程度、いわゆる自立できている期間
- その間、どうつながっていくか

※ 出展: 要介護度に基づいた要支援者等(境界期健康者)の平均余命(境界期平均余命)と健康期間(境界期健康期間)の推定(研究代表者 田宮菜奈子教授 筑波大学)

連絡先一覧

大田区コラム⑥見守りキーホルダー



外出中の事故や
突然の体調不良



家に帰りたいけれど・・・

こんなとき、事前に緊急連絡先を登録し、キーホルダーを身につけていると・・・

警察や救急隊からの照会に対し
必要な情報をお伝えできます。



道で倒れた方が
キーホルダーを持っています。
番号は 01-23456-78 です。
緊急連絡先はわかりますか。



そちらの方は〇〇様で、
緊急連絡先は〇〇様です。
電話番号は・・・



◆対象者

区内在住の 65 歳以上

◆登録内容

緊急連絡先（2名まで）、かかりつけ医療機関、病歴など ※年に1回更新が必要です。

◆注意事項

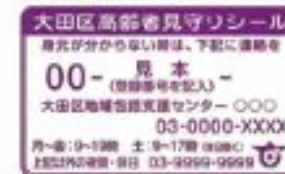
- ・申込の際は、登録内容がわかるメモ等をお持ちください。
- ・緊急連絡先に登録する方に、事前に了承を得てください。

ご希望に応じて、シールやカードも
配布しています！

☎地域包括支援センター（p68～69参照）

24 時間対応

公的機関のみに情報提供



- 新規登録件数 月350件～400件
- 情報照会 月20件前後
- 実登録者数 高齢者人口の2割以上

西糀谷二丁目町会

HI~

▶避難行動要支援者支援委員会

以下のような活動を行っています。

- ①訪問による安否確認（年3回）
- ②町会主催の盆踊り大会への招待（年1回）
- ③避難行動要支援者参加を想定した防災訓練の実施（年1回）
- ④区で作成した避難行動要支援者名簿をもとに支援希望の有無を本人に確認（年1回）
- ⑤支援委員による委員会を開催し、戸別訪問の報告と意見交換を行う（年3回）

🕒概ね2月、5月、10月に訪問。ほか適宜

📍西糀谷二丁目町会会館

👥約70人

中学校単位で参加、
高齢者、障がい者も
参加し、住民の1割
以上が参加

会員数・協力者数 30人

活動地域 町会内

☎03-5744-1250（高齢福祉課）

▶高齢者の居場所づくり

高齢者の居場所づくり、交流の場の提供、見守りを目的として、民生委員が中心となり、地域の介護事業所と出張所の協力を得て実施しています。

内容は音楽会、映写会、落語等多岐に渡ります。大森地域福祉課と地域包括支援センター職員が出席し、情報提供や個別相談も受けられます。参加者同士でも知り合いになることができ、介護事業所と高齢者をめぐるネットワークが構築されています。

出張所は場所を貸し、地域主導で実施



㊦毎月 27 日前後の 13：30～15：30 頃

※ 12 月は開催なし

📍池上特別出張所会議室（池上一丁目 29 番 6 号）

👥約 30 人

会員数・協力者数 20 人

活動地域 池上特別出張所管内

☎ 03-3755-2762

シニアステーション南馬込

R2～

▶大田区の元気維持・介護予防事業 多くのプログラムを開催しています

●運動系：リズムでフィットネス（有酸素運動）、楽しくエクササイズ（姿勢改善ストレッチと筋トレ）、骨盤底筋体操（女性限定、尿モレ予防）など

●文化系：大人のぬりえくらぶ、ボランティアくらぶ、男の居場所（男性限定の茶話会と体操）など

●地域講座：フレイル予防・介護予防をしながら地域で生きる術を専門職講師が講演、スマホ講座、防災講座など

🕒 月～土 9:00～17:00 開館（日・祝休み）

📍 シニアステーション南馬込（南馬込 3-13-12）

👤 60歳以上の大田区民 各定員 17人

その他の活動

敬老会 / 演奏会 / 新春祝い太鼓など



会員数・協力者数 -

活動地域 シニアステーション南馬込内

☎ 03-6429-7651



ウィロード山王（大森柳本通り商店街振興組合）

H24登録

▶無料お休み処「アキナイ山王亭」

2012年に誕生した無料お休み処「アキナイ山王亭」。ここを起点に住民、商店街が交流できる場所を目指します。

平日は「おおた高齢者見守りネットワーク（みま～も）」、第2・第4土曜日には「石巻マルシェ」なども開催されています。ぜひ足をお運びください。

🕒 9:00～17:00

📍 山王3-1（ウィロード山王商店街）

👤 年間のべ5,000人 どなたでも利用可能



協力者数 70人

活動地域 山王3-1
（ウィロード山王商店街）

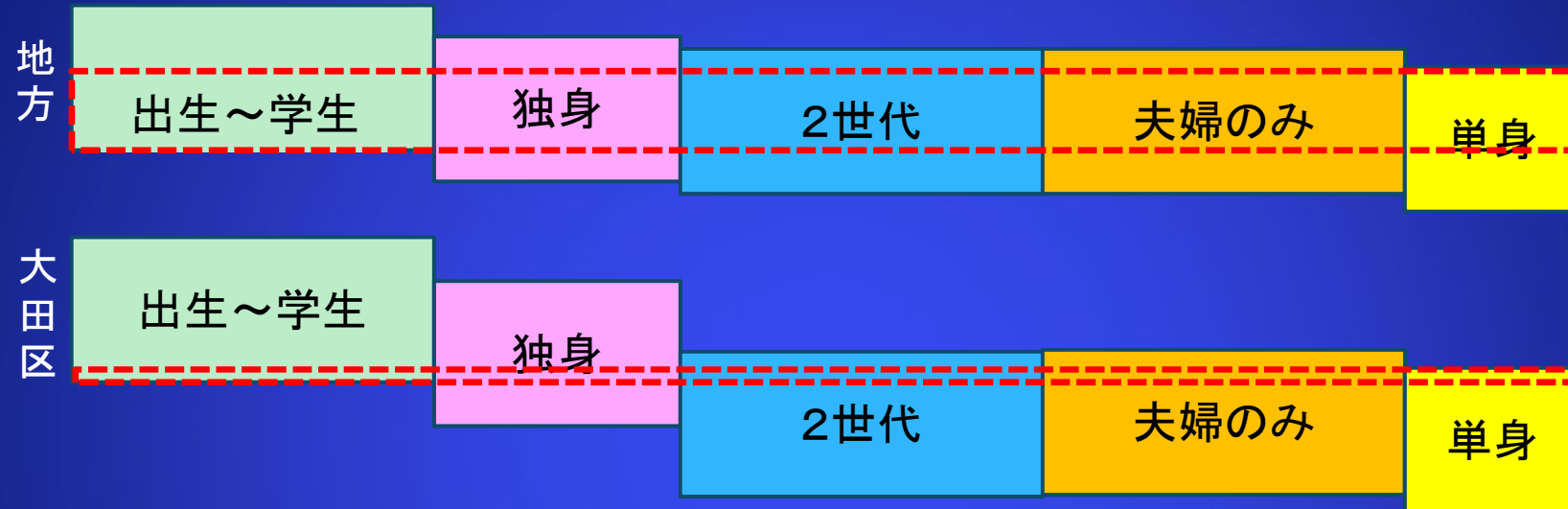
☎ 03-5744-1250（高齢福祉課）



さまざまなタイプが存在

- 自治会・町会が大きく主導して受動的住民ともつながる。
- 民生委員などが中心になり、交流の場を設ける。
- 地域包括支援センターなどプログラムを企画し、公信性を利用し敷居を低くする。
- 商店街や団体などが交流スペースを提供し、気軽に参加できる場の提供

地域としての課題



- ライフイベントで転居する割合が高く、地方で見られる、小中学生時代に形成された地域のコミュニティが生かされない。
- 2015年国勢調査の結果では、大田区では出生時から住み続けている人はわずか5%（クラスで1人～2人）
- 全国的には、3割を超える市町村も

自宅死からみた孤立

令和2年

東京都での世帯数 7, 227, 180世帯

自宅で亡くなる方 8, 950人

大田区は23区内では平均的。

23区の間では、人口千人あたりで2倍近く差、全国平均とでは、最大3倍近くの差。

持ち家率、一戸建て率など、いずれも相関はないが、所得との相関係数は、 -0.8 。

多様な機会の創出

- 医療とつながっていけるか（医療と介護の一体化の効果検証）（かかりつけ医が効果的かも）
- 買い物などの外出機会で「見かける人」から「知っている人」に
- 受け身の社会参加から、能動的な社会参加、参加する側から運営する側への誘導
- 社会の中で役割を持つ施策（就労支援）

- ご清聴ありがとうございました。